

2015年1月16日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ

国内保険業界初のプライベートクラウド型保険代理店システムの新規提供開始

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：二宮 雅也、以下「損保ジャパン日本興亜」）と株式会社インターネットイニシアティブ（代表取締役社長：勝 栄二郎、以下「I I J」）は、2013年11月18日に締結した「共同事業に係る基本合意書」に基づく新事業の一環として、国内保険業界初のプライベートクラウド型保険代理店システム「S J N K - N E T i + クラウド（以下「アイタスクラウド」）」を共同開発し、今月より提供※を開始しました。

※本代理店システムの販売・提供は、損保ジャパン日本興亜のシステム子会社である損保ジャパン日本興亜システムズ株式会社とI I Jが共同で実施します。

1. 提供開始時期

2015年1月5日

2. アイタスクラウド開発の背景

2016年に施行が予定されている改正保険業法では、従来以上の高度な経営管理体制、募集人への指導・教育義務および適切な販売プロセスの構築が求められることとなっており、より高機能な保険代理店システムに対するニーズが高まっています。

さらに、大規模災害に備えたBCP対策や、システムのランニングコストの低減化に対するニーズの高まりを受け、今般、プライベートクラウド型の代理店システムを損保ジャパン日本興亜とI I Jの両社で共同開発しました。

3. アイタスクラウドの特長

（1）プライベートクラウド型の採用（国内保険業界初）

個々のユーザー専用のアプリケーション、回線、ネットワーク機器などのシステム環境を用意した、国内保険業界初のプライベートクラウド型を採用しており、お客さま情報を管理するシステムとして、高い安全性を誇ります。

（2）高度な経営管理体制を可能とする充実の機能

以下の機能により、高度な経営管理体制を構築することが可能となります。

- ・取引のある複数の保険会社の契約情報、見込み客などを一元管理する機能
- ・全社を横断した高度な予算策定・成績管理機能
- ・保険を提供したお客さまとの対応履歴を管理する機能 など

（3）カスタマイズや他システムとの機能連携

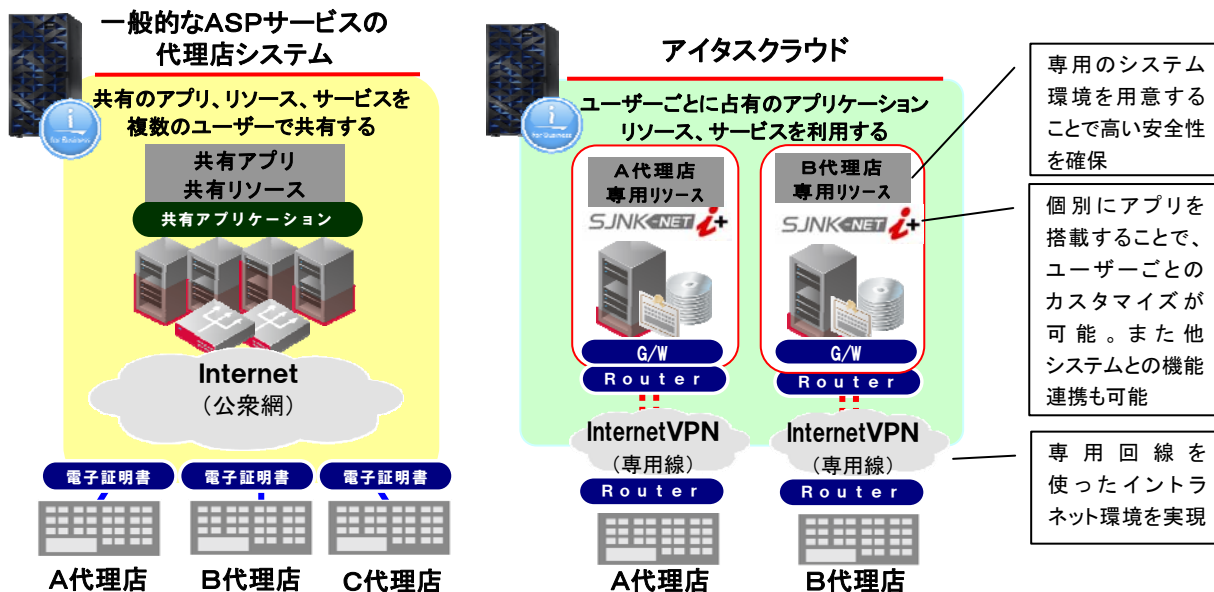
システムに代理店独自のカスタマイズを加えることも可能であり、業務の効率化や、お客さまサービスの差別化にも効果を発揮します。また、その他システムとの連携も可能にした拡張性、柔軟性の高いシステム構成を実現しています。

(4) 大規模災害を想定したBCP対策

アイタスクラウドは、大規模災害等を想定したI I Jの堅牢なデータセンター内で運用されているため、システムのBCP対策として有効です。また別のデータセンターにデータのバックアップを取得するオプションも用意しています。

(5) システムコスト低減化

サーバーを自社で所有しないことで、それにかかる場所代や電気料金、空調費などが不要となる上、サーバーの故障対応や・稼動状況の監視など日々の運用・保守にかかる業務が削減されることでトータルのシステムコストの低減化を図ることができます。



4. アイタスクラウドのグループウェアとの連携機能（国内保険業界初）

アイタスクラウドは有償のオプションとして、国内保険業界で初めて、中小企業向けグループウェアで業界トップのシェアを誇るサイボウズ株式会社が提供するグループウェア「サイボウズ ガルーン」と連携し、グループウェアの画面上で、販売額や営業成績などの各種経営管理情報が閲覧できる機能を追加する予定です。

5. 今後に向けて

損保ジャパン日本興亜は、アイタスクラウドの提供を通じて代理店業務の効率化を図り、お客さまにより良いサービスを提供するとともに、真のサービス産業として、お客さまの安心、安全、健康に資する最高品質のサービスの提供を目指していきます。

一方I I Jは、アイタスクラウドを損保ジャパン日本興亜と共同運営することで、自社が展開するクラウドサービス「I I J G I O (ジオ) サービス※」を一層拡大させていくとともに、顧客ニーズへの対応を通じてラインナップを拡充しながら、更なるサービスレベルの向上を目指します。

※I I Jが開発・運営・提供するクラウドサービスであり、アイタスクラウドのベース基盤

以上